

平成 22 年 4 月 1 日 制 定

平成 26 年 6 月 28 日 一部改正

平成 26 年 8 月 22 日 一部改正

平成 26 年 12 月 23 日 一部改正

学 会 賞 運 営 規 則

一般社団法人日本福祉のまちづくり学会（以下「学会」という。）の学会賞に関する運営方法についての事項は、一般社団法人日本福祉のまちづくり学会定款（以下「定款」という。）、一般社団法人日本福祉のまちづくり学会規約（以下「規約」という。）に定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

（目 的）

第 1 条 この規則は、福祉のまちづくり、バリアフリーデザイン、ユニバーサルデザインに係る研究活動、市民活動に顕著な業績または功績のあった個人または団体を表彰し、もって福祉のまちづくりに係わる研究活動、市民活動の取り組みを広く普及させるために、学会賞候補者の募集から受賞者選定に至るまでの運営方法についての事項を定めることを目的とする。

（名称と定義）

第 2 条 学会賞の名称と定義は次のとおりとする。

- （1）学術賞 本学会論文集に掲載された論文の中で、信頼性・妥当性・新規性・分野間連携等において優れた内容を含むものに対する賞である。
- （2）市民活動賞 福祉のまちづくり、バリアフリーデザイン、ユニバーサルデザインに係る市民活動に顕著な業績または功績のあった個人、または団体への賞である。一般市民、高齢・障害当事者等が主導する活動、ないしはそれらの人々と専門職者が協働した市民活動であり、際だった特色を有し、かつ継続性、波及性等に富んだ事業、技術開発、製品、機器等を対象とす

る。会員のみならず非会員による上記目的に合致した事業活動等を含むものとする。

(3) 大会優秀賞・大会奨励賞

全国大会における口頭発表とポスター発表の中で、学術性、新規性、多領域連携やプレゼンテーション力等の観点から優れた発表に対して与える賞である。

(表彰候補者の公募について)

第3条 市民活動賞の応募書類は次のとおりとする。

- (1) 本学会会員による候補推薦書1部(様式1)
- (2) 業績説明書1部(様式2)
- (3) 候補者が複数の場合は、それぞれの候補者が候補業績にどう関与したかを明記した資料(様式3)
- (4) 候補業績に関する資料(直接関係した一次資料)

(選考方法について)

第4条 学術賞は、学会賞選考委員会で選考基準に基づき審査し、決定する。

2 市民活動賞については、第3条の応募書類による審査を一次審査とし、現地審査が必要な場合には二次審査を行うものとする。

3 全国大会時の優秀賞と奨励賞については、全国大会概要集に掲載の論文及び当日のプレゼンテーション(ポスター含む)を対象に、各座長からの推薦を受け、学会賞選考委員会で審査し、大会終了後1か月をめぐりに数名を選定する。

4 各賞ともに類似受賞歴がある場合には、表彰の重複を避ける観点から表彰選考委員会で十分な協議を行うものとする。

5 表彰候補者は、選考委員会が推薦し、理事会の審議を経て学会長が決定するものとする。なお、各賞の選考基準は理事会の承認を経て別途定めるものとする。

6 表彰件数は特に定めないが、毎年若干名とする。

(表彰方法について)

第5条 学術賞及び市民活動賞は社員総会または全国大会で表彰し、大会優秀賞及び大会奨励賞は選考後に表彰する。

2 学術賞及び市民活動賞受賞者には表彰状と記念品を授与するものとする。大会

優秀賞及び大会奨励賞受賞者には表彰状を授与するものとする。

(選考委員会について)

第6条 選考委員会の開催は、次のとおりとする。

- (1) 選考委員会は学会賞選考委員長が招集する。
- (2) 選考委員会は委員の3分の2以上の出席がなければ開催できない。委任状は出席に含まれる。

(公募の送付先・問合せ先について)

第7条 応募書類等の文書は、下記宛に送付する。

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター (株)国際文献社内
日本福祉のまちづくり学会事務局学会賞選考委員会

(規則の変更)

第8条 この規則の変更は、理事会において行う。

附則

- 1 本規則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 本規則は、平成26年6月28日から一部改定施行する。
- 3 本規則は、平成26年8月22日から一部改定施行する。
- 4 本規則は、平成26年12月23日から一部改定施行する。

(様式1) 候補者推薦書

1. 候補者推薦書 (A4、1枚)			
候補者 ・個人 ・団体 (いずれかに○を)	表彰対象の活動名称または事業名称		
	候補とする個人の名前、または団体の名称 (複数の場合は筆頭者だけを記載し、残りは様式3に記載)		
	(個人の場合)所属・職名等		左記の連絡先 (電話・E-mail・住所)
	(団体の場合)代表者名・所属・職名等		
推薦理由 (400字程度)			
いつから(歴史や経過)、どこで(活動場所)、誰が(主体)、誰にまたは何に(対象者、対象物、対象事項)、何を(活動内容)、どのように(活動方法や手段)に実施してきた(している)か、及び成果(物)について、及びそれらがどのように優れていると考えられるのかについて、簡潔にご記入ください。			
推薦者	推薦者(1名)		
	所属・職名		
推薦者の連絡先	電話		
	E-mail		
	住所		

2. 候補者業績説明書 (A4、1～2枚)	
表彰対象の活動名称 または事業名称	
業績理由 (800字程度) 推薦書に記した内容を詳細化する形で、特に主体の当事者性、活動開始と継続の経緯、具体的活動内容と実施の頻度と年数、多様な人々の連携のあるなし及び関与する人数、展開する活動の内容とバラエティ、活動の成果 (質的量的な波及効果)、他の類似活動と比較した場合の優位性について自由に記述してください。	

候補業績に関する資料 (適宜必要と思われる資料を添付する。資料は直接関係した1次資料に限る。)

(様式3) 複数候補者の場合

1. 候補者が複数の場合のそれぞれの業績（候補業績にどう関与したかを明記する） (A4、1枚) 候補者が個人か団体かを明らかにしてください。	
候補者1 ・個人 ・団体	氏名※
	所属
	職名
	連絡先
候補者2 ・個人 ・団体	氏名※
	所属
	職名
	連絡先
候補者3 ・個人 ・団体	氏名※
	所属
	職名
	連絡先
候補者1 が業績に どう関与 したかを 明記	
候補者2 が業績に どう関与 したかを 明記	
候補者3 が業績に どう関与 したかを 明記	

※団体の場合はその名称と代表者